

2026 年 9 月災害時被災状況報告訓練について 会員・広報出版委員会

神奈川県病院薬剤師会では例年、大規模災害に備え災害時被災状況報告訓練を実施しています。災害時には被災状況を取りまとめ把握することから始まります。本訓練における報告方法は日本病院薬剤師会の被災状況・支援ニーズ報告 ver.1.0 に準じた連絡フォームからとしています（令和 6 年度から FAX、メール廃止）。神奈川県病院薬剤師会ホームページおよび月例案内に連絡フォームの URL と QR コードを表示して周知しました。また被災想定として、神奈川県災害情報ポータル（<https://www.bousai.pref.kanagawa.jp>）のハザードマップより、自施設付近の災害危険度から被災状況を想定して頂きました。各施設からの災害時被災状況報告書を取りまとめたので報告いたします。

【被災想定】

被災日時：令和 8 年 9 月 1 日(火曜日) 午前 9 時

災害規模：午前 8 時 10 分頃、静岡県東部から駿河湾付近を震源とする強い地震が発生した。

地震の規模はマグニチュード 7.3、最大震度は 6 強と発表された。神奈川県内でも広い範囲で強い揺れを観測し、県西部・湘南地域を中心に震度 5 強から 6 弱、横浜・川崎・横須賀・県央・相模原地域でも震度 4 から 5 強を観測している。

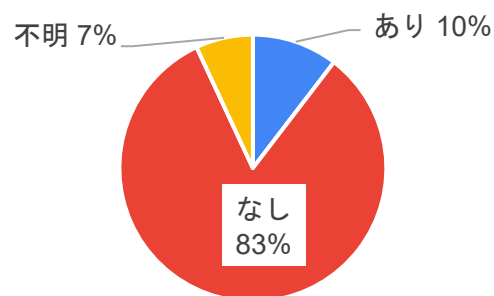
気象庁からは相模湾沿岸および東京湾内に津波注意報が発表されており、沿岸部では避難情報や交通規制が出されている。東名高速道路、新東名高速道路、小田原厚木道路、国道 1 号線、国道 246 号線等の一部で通行止めまたは大規模渋滞が発生している。JR 東海道線、小田急線、京急線、相鉄線等でも一部区間で運転見合わせが発生している。

1. 報告施設件数 182 施設／314 施設（回収率 58.0%）
2. 医療機関の所在地（都道府県） ☐ 必須 182 施設回答あり（100%）
3. 医療機関機関名 ☐ 必須 182 施設回答あり（100%）
4. 報告者名 ☐ 必須 182 施設回答あり（100%）
5. 報告者の所属 ☐ 必須 職員：182 施設（100%）外部支援者：0 施設（0%）
6. 報告者の電話番号 ☐ 必須 192 施設回答あり（100%）
7. 医療機関薬剤部門の連絡先 ☐ 任意 56 施設回答あり（30.8%）

8. 薬剤師の人的被害状況 任意

なし	18 件
あり	143 件
不明	12 件

回答なし 9 件



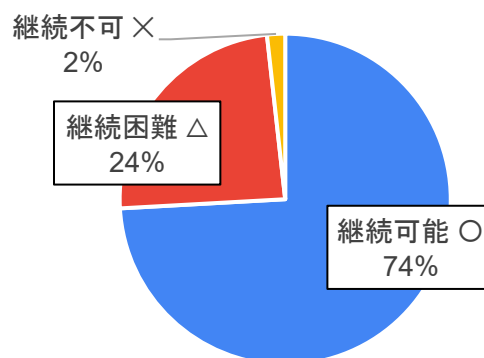
9. 人的被害が生じている場合の状況フリーコメント 任意 (一部抜粋して原文のまま記載)

通勤中の職員が交通機関運休、道路渋滞により出勤困難。院内職員に軽微な転倒・打撲が数名。
出勤途中の職員が複数けがをして出勤が困難と連絡あり。9 時時点で出勤しているのは半数の 20 名

10. 内服薬調剤の継続は可能ですか 任意

継続可能○	126 件
継続困難△	41 件
継続不可×	3 件

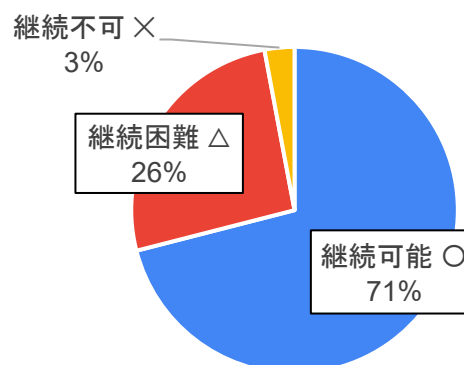
回答なし 12 件



11. 注射調剤の継続は可能ですか 任意

継続可能○	120 件
継続困難△	44 件
継続不可×	5 件

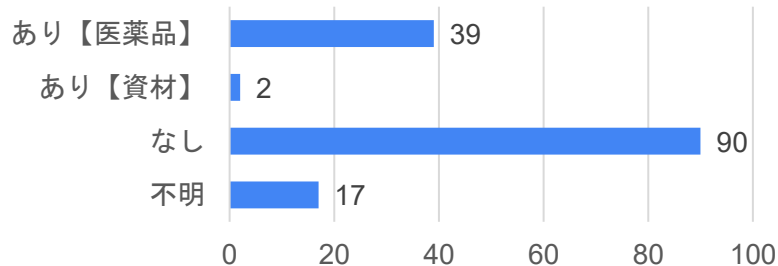
回答なし 13 件



12. 不足している医薬品・資材はありますか 任意

あり【医薬品】	39 件
あり【資材】	2 件
なし	90 件
不明	17 件

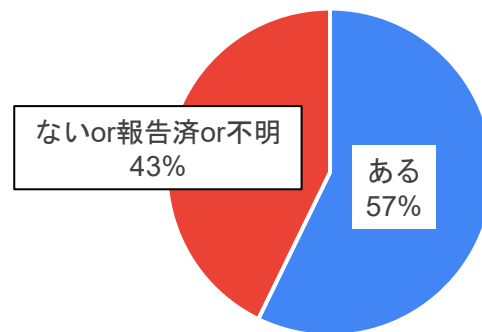
回答なし 12 件



13. 調達困難で不足している o r 今後不足の可能性がある医薬品はありますか 任意

ある	91 件
ない or 報告済 or 不明	68 件

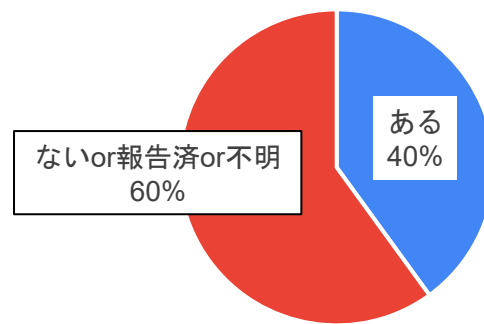
回答なし 23 件



14. 調達困難で不足している o r 今後不足の可能性がある資材はありますか 任意

ある	62 件
ない or 報告済 or 不明	93 件

回答なし 27 件



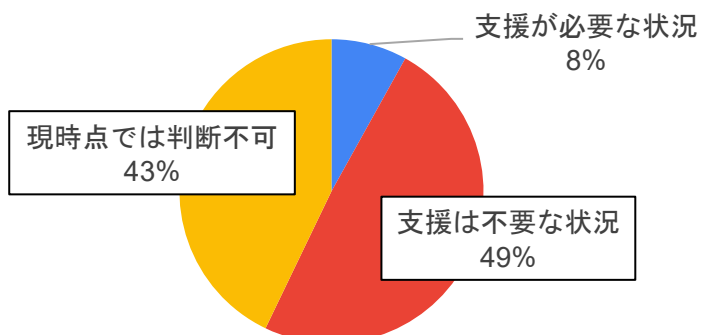
15. 薬剤業務関連の被害状況を自由に記載して下さい。任意 (一部抜粋して原文のまま記載)

交通機関運転見合わせにより病院職員参集 30% 下回る。外来閉鎖し救急外来のみ開設。薬剤部は参集 7 名。薬剤部長、DMAT 隊員 1 名は部活動、5 名で調剤業務を主に業務継続。
薬品保管棚から各種薬剤の落下が生じるも復旧は可能。注射薬自動払出機は薬剤送り出しレールのズレにより払出不可。処方データ受信や電子カルテは稼働しており手出し運用。
近隣薬局は開局しており外来処方継続可能。病院災害対策本部の方針に従い薬剤部内の業務調整予定。卸から輸液類の搬入困難の連絡があり、今後不足する可能性が高い。

16. 外部支援（病院薬剤師）の必要性 任意

支援が必要な状況	13 件
支援は不要な状況	79 件
現時点では判断不可	69 件

回答なし 21 件



17. 伝言板 任意（一部抜粋して原文のまま記載）

現時点ではヘリポート使用可能だが、津波による多摩川氾濫の際は 2 階まで水没のおそれあり、警報発令の可能性を確認しつつ上層階への患者、物品の避難を開始が必要。
海岸から 500m 位に所在のため、津波で浸水の際はライフライン遮断の可能性有り。津波でなくとも豪雨災害で電源遮断の可能性が予想される。このような状況でも被害状況を報告する方法を構築してください。
支援が必要な場合でも、津波の危険が無くなってから向かって来てください。

まとめ

本年度は連絡方法を日本病院薬剤師会の被災状況・支援ニーズ報告 ver.1.0 に準じた連絡フォームに統一して 3 年目となりました。昨年度に引き続き視認性の高い黄色い用紙で月例及び訓練 1 週間前に案内を郵送しました。報告施設数は 182 施設、会員施設の 58.0%と、昨年度と同等の水準を維持できました。ご協力いただいたご施設には御礼を申し上げます。

本年度は、近隣の静岡県を震源とする地震が発生し、神奈川県内にも広範囲の強い揺れがあり避難情報や交通機関への影響を想定しました。日本各地で地震が発生しており、神奈川県においても大地震発生リスクを想定して薬剤部門のマネジメントを行っていかねばならない状況です。神奈川県災害情報ポータルのはazardマップも合わせて確認していただくことにより、より具体的に自施設付近の災害の危険度から被災状況を想定して頂きました。本年度は具体的な路線や道路を想定したことで、職員の参集や流通への影響をより具体的に検討して頂けたかと思います。本年度リニューアルしたホームページでの情報発信を期待するご意見もいただいております。今後の活用を検討したいと考えております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

報告施設件数推移

年	2021	2022	2023	2024	2025	2026
報告施設数	98	105	94	148	192	182
会員施設数 ※)	333	333	332	321	316	314
報告割合 (%)	29.4	31.5	28.3	46.1	60.8	58.0

※) 事業概要報告書より